

10. 後頭神経ブロック

CQ26：後頭神経ブロック，後頭神経パルス高周波法は，頸性頭痛，後頭神経痛に有効か？

解説：頸性頭痛 47 名に対し後頭神経プラセボブロック群と後頭神経ブロック群で比較した RCT¹⁾ では，施行 2 週間後，後頭神経ブロック群において VAS, Total Pain Index (TPI) がベースラインより約 50% 低下した。また，鎮痛薬用量，頭痛とその頻度，悪心・嘔吐，音過敏，光過敏，食欲低下もプラセボ群に比較して有意に減少した [EV: II, G1]。30 名の難治性頸性頭痛に対し，後頭神経ブロック群と後頭神経パルス高周波群の 2 群を比較した RCT²⁾ では，施行 3 カ月後で，ブロック群で VAS (1~100 表示) が 32，パルス高周波群で 33 低下した。施行 9 カ月後ではパルス高周波群において効果が持続していた。 [EV: II, G1]。19 名の後頭神経痛患者に対する大あるいは小後頭神経パルス高周波法の前向き試験³⁾ では，施行後 6 カ月間平均 VAS が 36 低下し，Medication Quantification Scale で 8 単位低下した [EV: IVa, G2]。後頭神経痛と診断された 102 名に対し，大あるいは小後頭神経パルス高周波を施行した後ろ向き試験⁴⁾ では，52 名 (51%) で，施行後 3 カ月間 50% 以上の鎮痛が得られた [EV: IVb, G2]。

従来方法の後頭神経ブロックと超音波ガイド機器などを用いた後頭神経ブロックを比較した報告もある。26 名の後頭神経領域の頭痛患者をドップラー超音波流量計ガイド下後頭神経ブロック群と従来の盲目的後頭神経ブロック群の 2 群に分けた RCT⁵⁾ では，ドップラー群が従来方法群に比較して後頭神経ブロック群で有意な効果が得られた [EV: II, G2]。後頭神経痛の患者に対する超音波ガイド下後頭神経ブロック群と従来の盲目的後頭神経ブロック群の 2 群に分けて比較し，施行 4 週間後の VAS (1~100 表記) を比較した prospective study⁶⁾ では，超音波ガイド下群は VAS が 64±2 から 23±2，盲目群は VAS が 65±2 から 38±3 に低下した [EV: IVa, G2]。このように，後頭神経ブロックでは，超音波ガイド，ドップラー超音波流量計ガイドを使用すると，より確実にブロックすることができる。

まとめ：頸性頭痛に対する後頭神経ブロック，後頭神経パルス高周波法は有用な治療である。パルス高周波法 (PRF) の方が，長期間効果が得られるとの報告もある。後頭神経痛に対する後頭神経ブロック，後頭神経パルス高周波法は有用な治療である。

推奨度 B

参考文献

- 1) Naja ZM, El-Rajab M, Al-Tannir MA, et al: Occipital nerve blockade for cervicogenic headache: A double-blind randomized controlled clinical trial. Pain Pract 6: 89-95, 2006 [EV: II G1]

- 2) Gabrheilig T, Michalek P, Adamus M: Pulsed radiofrequency therapy versus greater occipital nerve block in the management of refractory cervicogenic headache: A pilot study. *Prague Medical Report* 4: 279-287, 2011 [EV: II, G1]
- 3) Vanelderden P, Rouwette T, Vooght PD, et al: Pulsed radiofrequency for the treatment of occipital neuralgia: A prospective study with 6 months of follow-up. *Regional Anesth Pain Med* 35: 148-151, 2010 [EV: IVa, G2]
- 4) Huang JHT, Galvagno Jr SM, Hameed M, et al: Occipital nerve pulsed radiofrequency treatment: A multi-center study evaluating predictors of outcome. *Pain Medicine* 13: 489-497, 2012 [EV: IVb, G2]
- 5) Se Hee Na, Tae Wan Kim, Tae Dong Kweon, et al: Ultrasonic Doppler flowmeter-guided occipital nerve block. *Korean J Anesthesiol* 59: 394-397, 2010 [EV: II, G2]
- 6) Joae Hang Shim, So Yung Ko, Mi Rang Bang, et al: Ultrasound-guided greater occipital nerve block for patients with occipital headache and short term follow up. *Korean J Anesthesiol* 61: 50-54, 2011 [EV: IVb, G2]

[新田一仁 福井弥己郎]